



奄美医療生協NEWS

お元気ですか

発行者
奄美医療生活協同組合

鹿児島県奄美市名瀬長浜町8-7



電話0997-52-0585

FAX 0997-52-8881

千鳥橋病院(所属)による、医療講話を開催しました。「春からの熱中症予防」をテーマにスライドを使い話されました。毎日猛暑日(35℃)に近い気温のこの時期、一着注意の必要な「熱中症」に、興味津々に聞き入っていました。



7月18日(金)
中央奄美支部リッ
チ班で、
奄美中央
病院へ研
修で赴任
された、
末廣羽実
莉(はみ
り)研修
医(福岡
地

医療講話「熱中症について」を開催
いまいちばん危険！予防が大事

北大島区 中央奄美支部

つながりづくり・健康づくり・地域づくり
医療講話・居場所づくり・健康づくり・班会旺盛に

- 2面
・九州沖縄ブロック
組合員交流研修会
- 3面
・九州沖縄ブロック
組合員交流研修会
写真集
- 4面
・2025 年度
秋の生協強化
月間(骨子)
- 5面
・健康チャレンジ
2025のご案内
・北大島区
「生協まつり」
お知らせ
- 6面
・読者投稿
・理事会だより
・ゆいちゃんがい

南大島区 東方支部

いま地域に必要なものは居場所づくり
「東方みしよる会」活動再開!

組合員さんからは、「熱中症予防の飲み物は?」、「足のけいれんについて」、「熱中症になった経験」等質問や感想がだされ、丁寧に説明されていました。講話のあとリッチ班お楽しみのお茶会で、奄美入りしたことや、出身地(八女)の話題など楽しく懇談することが出来ました。折角の奄美での研修という事で、奄美医療生協の紹介を兼ね、「創立70周年奄美医療生協の沿革」のスライドや「新徳之島診療所の紹介」スライドも見て頂きました。将来「麻酔科」を目指す末廣先生のご活躍に期待したいと思います。

地域支援部 山下 俊和



7月17日(木)「東方みしよる会」が再開されました。みしよる会は昨年12月から活動休止しており、これまでは配達やテイクアウトを兼ねた食事を提供を実施していましたが、今回から組合員同士の交流や一人暮らしの組合員の居場所づくりを目的とし、生協会館「組合員

徳之島以南区 徳北支部

地域サロンで健康づくり
楽しく握力回復・脳トレも!

山里地域サロンは、医療生協の班として登録されており、運営委員さんが班長を務めています。主に毎月第2・第4土曜日の午前中に班会を開催しています。7月12日(土)の班会では、健康チェックとして「血管年齢」や「握力測定」を行いました。

その後、握力を回復するための簡単な体操をみんなで実施。「手の動きが逆になると難しい



地域の情報共有にもつながりました。

地域支援部 伊 加代子

ね」とい
った感想
も聞かれ
笑顔のあ
ふれる時
間となり
ました。
また、新
診療所の
紹介や、
送迎バス
等の案内
も行い、

の家」内での食事提供としました。メニューは「カレーライス」「すももゼリー」等です。20食限定の予定が30食以上もの提供となり大好評でした。目的としていた、食事しながらの懇談も盛り上がりました。(写真)引き続き、方針の実践として開催して行きたいと思っています。

地域支援部 嘉野 善一郎



2025年度九州・沖縄ブロック組合員交流研修会in大分開催 ともに学び・楽しく交流・ひらかれた医療福祉生協を



7月15日（火）16日（水）九州沖縄ブロック組合員交流研修会が、ホテル大分（大分県大分市）に九州沖縄に

ある8生協から400人の参加で開催されました。

2025年度は大分県医療生協が主管での集合開催となり、奄美医療生協からは3区より組合員10名、職員2名が参加しました。会場までは、福岡博多で前後泊し、JRに乗り会場入となりました。奄美からは、交通の不便な大分ですが、元気に参加することができました。

1日目（15日 火）

橋本まゆみ実行委員長の歓迎の挨拶後、九州沖縄ブロック運営委員の福嶺清行氏より「**医療福祉生協連2025年度秋の生協強化月間方針**」について基調報告が行われました。

◆2025年秋の生協強化月間は「メンバーテーマを「参加と協同でひらかれた医療福祉生協をともにつくる月間」とし、サブテーマを「つながろう！ひろげよう！ともにつくるう協同の”わー！”としています。

◆記念講演は、中澤桂一郎氏（利根保険生協 医師）による「**すごいんです・お口の健康法の極意 教えちゃいます。オーラルフレイル予防法**」をテーマに、普段は無意識にしている呼吸を意識してオーラルフレイル予防をしていくことの大切さについて話されました。

◆単協報告は、4つの生協より地域の課題と実践が報告されました。

●鹿児島医療生協の「減塩の取り組み」●久留米医療生協「居場所づくり」●沖縄医療生協「南西諸島のミサイル配備」●奄美医療生協からは「**創立70周年の取り組み**」を泉スヤ子氏（笠利支部地域担当理事）が行い、奄美診療所誕生の歴史と節目となる企画や振り返り学習会、特別号の発行などの取り組みについて報告しました。



単協報告 泉 スヤ子

単協報告は、実践交流につながる有意義な報告会となりました。

◆夕食交流会



各単協からの出し物と、挨拶でもりあがる恒例の夕食交流会では、**奄美医療生協は挨拶を行いました。**

「ムツゴロウどん」踊りや「みやこん

じょ弁体操」、最後は会場を巻き込んで沖縄の「唐船ドリー」を踊り一日目が終了となりました。

2日目（16日 水）

◆分科会は、大中小の3分科会9会場で行われ、健康づくりや組合員のありかた、生協の取り組み交流等、各単協での実践を学び合いました。

◆帰り道

研修終了後、駅内で昼食や買い物を楽しみ、夜は博多の居酒屋で「研修会おつかれさん会」を行いました。翌日、17日（木）福岡空港より帰路につきました。参加者の皆様、お疲れ様でした。次年度以降は2年に1回となり次回は宮崎開催となります。



2027年開催
宮崎医療生協の皆さん

奄美医療生協参加報告会

◆7月30日（水）3区をWebで繋いで奄美医療生協参加者の報告会が行われました。次号以降の「お元気ですか」で紹介します。

※写真集3面にあります。
地域支援部 福田 雄樹



徳之島空港
奄美空港



博多前後泊



特急ソニック



大分レンブラント
ホテル



地下鉄に乗って



特急ソニック



全体会も円卓で



記念講演 中澤桂一郎医師



単協報告 泉さん



分科会



分科会



分科会



分科会



研修会総括を兼ね交流



夕食交流会カチャーシー



大分駅前



夕食交流会奄美は挨拶で



夕食交流会



奄美空港にて



分科会



沖縄・沖縄をかせ合唱に泰さんが

2025年度秋の生協強化月間方針(骨子) 参加と協同でひらかれた医療福祉 生協をともしにつくる月間

9月25日(木)～11月30日(日)

法人のメインスローガン

医療福祉生協の2つの危機「組合員参加の危機」、「事業所存続の危機」を組合員と職員の「参加」と「協同」の力で乗り越え、地域に必要とされる事業や事業所を守り抜こう。

テーマ

「つながろう!ひろげよう!ともしにつくる協同の“わ”」

月間での行動提起

◆年間目標達成にこだわり、協同組合の価値への理解を深めよう。

2025 国際協同組合年の学習や月間企画を通して「協同組合の良さを知らせる」取り組みを進めます。2025 年 11 月までの四課題月次目標の達成を目指します。

目標と課題を共有し、それぞれの役割を全員の力で理解し、取り組む事で目標達成につながる。



生協強化月間とは

生協強化月間とは、1948 年 10 月 1 日「消費生活協同組合法」の施行を記念し、生協をさらに強めるため(医療福祉生協では、仲間ふやし・出資金ふやし・班づくり・担い手づくり)に地域組合員と職員組合員がともに力を合わせて取り組む期間です。医療福祉生協の活動を地域に広く知ってもらう期間として、10 月～11 月を中心に健康づくりや地域訪問など様々な形での月間の企画行事が取り組まれ、生協の魅力を地域住民に広げていく活動をしています。

◆学習や実践交流を進め、さらなる「参加と協同」に取り組みます。各支部での月間決起集会を開催し、2030 年ビジョンの「誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくりへの挑戦」の実践を進め、医療福祉生協の事業の魅力を知ってもらい、事業利用を高め足腰の強い事業活動に取り組みます。

国連は様々な分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、2025 年を 2 度目の「国際協同年」と決めました。

医療福祉生協の魅力を知らう事が大事



◆各区生協会館や組合員の家を活用した世代や組合員の枠を超えた居場所・拠点づくりに取り組みます。

多くの方が参加する交流企画等の「楽しい企画」の開催を進め、医療福祉生協に参加する人やかわる人を増やす取り組みを進めます。

◆「助け合いの会」を広げる取り組みを進めます。地域の「困った」をキャッチできる人づくりを進めます。

◆いのちと平和、人権を守り憲法が活きる社会を目指します。

組合員と職員が共に学び成長できる

よう、医福連・民医連関連の学習資料や定期刊行誌の活用、学習会への参加等取り組みを進めます。

◆戦後・被爆 80 年の学習企画を実施し、次世代に平和を継承する取り組みを進めます。

学習を中心に、軍拡反対、核兵器廃絶等平和な社会をつくる運動を広げます。

医療福祉生協連の理念は、健康をつくる、平和をつくる、いのち輝く社会をつくる



月間目標数値

全国四課題(加入、増資、班会開催、班づくり、担い手増やし、健康チェック)は、事業所、支部の 2025 年度 11 月末までの月次累計目標をやり切ります。

※数値目標は 11 月末までの目標数値に対し 9 月 20 日(土)までの実績を差し引いた数値目標にて設定します。

健康チャレンジ 2025



健康チャレンジは、11種類の「健康づくり」のコースから1つまたは2つを選んで9月1日～12月20日の期間に60日間、仲間と一緒にチャレンジする取り組みです。支部や班・ご家族などでお好みのコースに“チャレンジ”しませんか。「達成賞」もあります。

チャレンジコース

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| ①ぐっすり快眠コース | ②しっかり自分休みコース | ③禁煙・ほどほど飲酒コース |
| ④いきいき快汗コース | ⑤きちんと3食コース | ⑥しっかり歯磨きコース |
| ⑦ハラ腹ドキドキコース | ⑧血圧測ろうコース | ⑨脳いきいきコース |
| ⑩減塩すこしおコース | ⑪自分で決めるコース | |

※それぞれ達成基準があります。
パンフレットをご確認下さい。

申し込み期間 9月1日～10月21日

チャレンジ期間 9月1日～12月20日

健康チャレンジの取り組み

- ①チャレンジコースを選ぶ ②チャレンジ開始(9/1～12/20)のうち60日間 ③60日間のチャレンジ終了
③結果とアンケートの提出(QRコードの報告フォームまたは記入用紙で)1月15日 締め切り
※60日間達成しアンケートにお答えいただいた方に達成賞贈呈。(3年連続達成は特別賞あり)

パンフレットのある事業所

- ①奄美中央病院 ☎ 52-6565 ②奄美医療生協本部 ☎ 52-0585 ③南大島診療所 ☎ 72-0107
④老健せとうち ☎ 73-1155 ⑤徳之島診療所 ☎ 83-2131



奄美医療生協北大島区生協まつり

あつまれ虹の仲間たち



開催日：9月28日(日)
9:30～12:00

会場：川商ホール

主な企画 (予定企画 変更する場合があります。)

- ：無料健康チェック
(血管年齢・骨密度・握力・血圧・足指力測定・ベジチェック)
- ：健康相談コーナー・足の健康コーナー
- ：支部組合員さん、職員の出し物
- ：子どもたち参加の楽しい企画を準備しています。
- ：お楽しみ抽選会



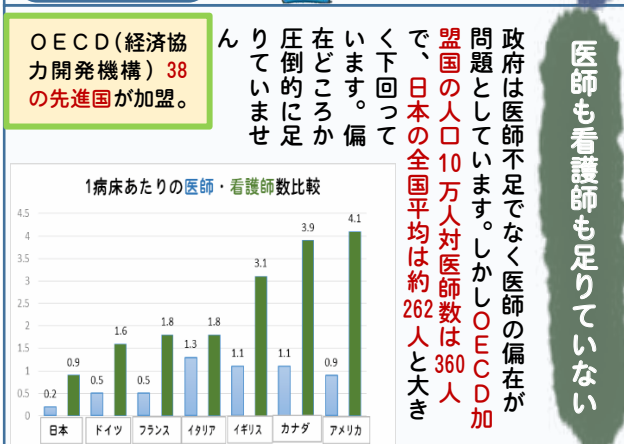
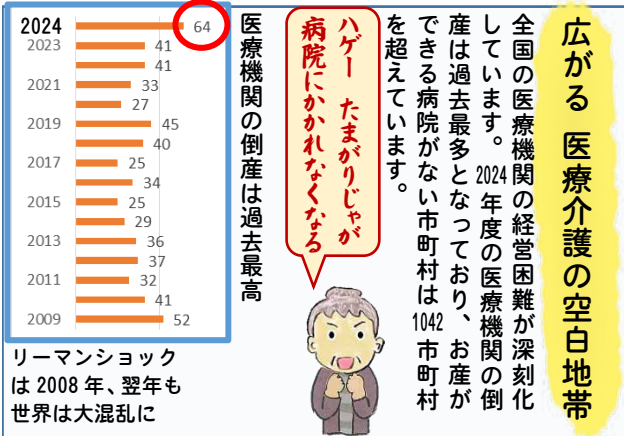
野菜の摂取状態が分かる



詳細は、ポスターをご確認下さい。

お問い合わせ 医療生協本部 ☎ 52-0585
奄美中央病院 ☎ 52-6565

ゆいちゃんがいく No.61 Toshi



いのちとケアを大切にす国へ

自民・公明・維新の 3 党は「国民医療費総額を最低 4 兆円削減する」3 党合意を結びました。政府は高齢者が増え現役世代の負担が増えるという世代間対立をありながら、全世代に負担増と給付削減を押し付けています。

社会保障は国が所得再配分機能により貧困や格差を是正するものです。大企業や富裕層からの応分の負担、莫大な防衛費を見直せば安心して暮らせる社会保障の財源は確保可能です。

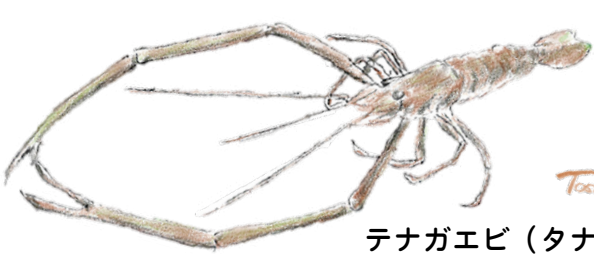
いのちとケアを大切にす国へ、変えるのは私達だ！

参考：民医連パンフ「あなたのまちは大丈夫？」

読者投稿



白い虹 写真提供：森 直弘 さん



テナガエビ (タナガ)

テナガエビは、テナガエビ科テナガエビ属に分類されるエビの総称。熱帯・温帯の淡水域や汽水域にも生息するエビです。夏になると川遊びをする子どもたちの楽しみの一つです。捕獲には技も必要で、唐揚げは絶品です。いつまでもタナガがとれる川を守りたいと思います。絵・文：Toshi さん

理事会だより

第 1 回法人理事会が開催され次の事項が議決されました。

- 1、通知事項
 - ① 2025 年 5 月の経営報告
- 2、報告承認事項
 - ① 第 48 期通常総代会報告
 - ② 第 47 期第 22・23・24 回常務理事会報告
 - ③ 第 48 期第 1 回常務理事会報告
- 3、協議議決事項
 - ① 2025 年度理事体制 (案) について (会議・委員会・支部担当体制)
 - ② 2025 年秋の生協強化月間方針 (一次案) について
 - ③ 第 48 期役員報酬検討委員会からの答申について
 - ④ 第 49 期通常総代会日程について
 - ⑤ 第 48 期理事会日程及び議題について
 - ⑥ 第 48 期上期理事監事研修会について
- 4、その他の事項
 - ① 2025 年 7 月 8 月日程の確認